

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	国際研究集会研究員の派遣		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和46年度・平成22年度		担当課室	国際交流官付		国際交流官 匂坂克久	
会計区分	一般会計		施策名	VII-5. 科学技術の国際活動の戦略的推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外で開催される、わが国の政策の必要上情報を収集する必要がある科学技術・学術分野の国際研究集会に、戦略的に大学等研究機関の優れた研究者を派遣することにより、科学技術・学術分野の国際交流及び我が国における科学技術・学術の振興を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海外で開催される科学技術・学術分野の国際研究集会に、国の政策の必要上、戦略的に大学等研究機関の優れた研究者を派遣することにより、科学技術・学術分野の国際交流及び我が国における科学技術・学術の振興を図ることを目的とする。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	18	15	16	—	—
		補正予算	0	0	0	—	—
		繰越し等	0	0	0	—	—
	計	18	15	16	—	—	
	執行額	17	14	15	—	—	
執行率 (%)	94.4%	91.4%	92.2%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	科学技術・学術分野の国際交流及び我が国における科学技術・学術の振興を図ることを目的としており、定量的な指標による評価になじまない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際学会等への専門家等派遣人数 (我が国及び国際的な情勢を判断しながら、派遣の可否を検討するため、あらかじめ見込みを立てることは不可能である。)		活動実績 (当初見込み)	人	43	40	48
単位当たりコスト	0.31 (百万円/派遣者)		算出根拠	インプット(派遣執行額):15百万円 アウトプット(派遣者数):48人			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
				平成22年度限りの経費			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、本事業を平成22年度限りでいったん廃止した上で、平成23年度は外国関係旅費に係る積算を見直しつつ、国内外で行う調査、意見交換、議論、協議等に必要な事務に係る経費を「科学技術国際活動の推進事務費」に整理統合した。</p> <p>また、引き続き廉価な航空券購入の工夫等により効率化に努め、適切な旅費の執行を行うこととした。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

【A】

文部科学省  
(15百万円)

在外研究員等旅費 15百万円

国際的に権威のある団体又は学術研究機関が主催し、海外で開催される国際研究集会に、招待講演若しくは研究発表を行うこと又は座長になること等重要な役割果たす大学等研究機関の優れた研究者を戦略的に派遣する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
在外研究員 等旅費	国際研究集会へ研究者を派遣するた めの旅費	15			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)